

第9回、朝活かみいち、報告

◆概要

日時 ; 3月19日木曜、7時から8時まで

会場 ; 上市文化研修センター1階喫茶店、M's cloud

進行役 ; Nguyen Huy Duc さん (東洋電制)

題目 ; 「ベトナムから見た日本、富山、上市

～異国での20代～」

参加者;17名、上市町内からは初めて二桁参加者で11名であり、初参加の方もおられ、ますます盛会となりました。

◆当日の様子を記録風に述べます。

まず最初は、参加の皆様から自己紹介を兼ねてベトナムについて一言をたまわりました。すると、ベトナムに行ったとか、(団塊の世代にとっては)ベトナム戦争があったとか、ベトナムについていろんな角度から一言がありました。

つづいて、Duc さん本人から自己紹介を皮切りに語っていただきました。以下に編者の記憶を頼りに語りを再現します。文言は多少違ったりニアンスの違いはご容赦ください。

私は、ホーチミン市出身の27才の男性で日本に来て10年目です。ベトナムでは大学一年生のときに、日本行きを勧められ東京にきました。東京では中野に住み、語学の勉強とアルバイトに精を出していました。

東京二年目のとき、東京に嫌気がさしていたところ富山を勧めてもらい、富山大学に入学しました。富山では住んでいてそのうちに楽しくなりました。

東洋電制社長の片山さんとの出会いは、2011年、片山さんがベトナム語の勉強に富山大の留学生から学ぼうとして、私と出会ったのです。5日間ほどのレクチャーでした。

日本に来て6年目。次のことがきっかけで私は地球人となりました。上市ショッピングセンターの靴屋さんに行ったら、そこのおばちゃんが「日本語がうまくなったね」と言ってくれました。実は一年前にその靴屋さんに来たことをおばちゃんが覚えておられていたのです。しかもうまくなったねって言うていただいたのです。大感激でした。

会社に入ったのは、片山さんがうちにこないかといって下さったことがきっかけです。会社では、交易の関係や生産システムの関係の仕事をしています。

今は、会社に入って3年目です。皆さんとは楽しく、関係を大切にしています、これもみんな上市が教えてくれました。

将来は、国に帰って会社を起こして活躍したいです。皆さん、

聞いていただいてありがとうございました。

なお、片山さんからは、「Duc さんは大変優秀な方ですが、たいへん謙遜されています。これも（日本なのか富山なのか分かりませんが）環境がそうさせたのでしょう」、と補足説明がありました。

◆一通り話された後は、みなさんとの語り合いになりました。いくつかを記しておきます。

・日本の感想を。特に悪い面を。

D : あまり考えたことはありません

・ベトナムでは甘いスイーツはありますか。

D : 当時に比べ今ではスイーツはどこにでもあります。当時、あまり食べませんでした。今では甘党です。毎日チョコは欠かせません。

・コーヒーは

D : コーヒーはあまりのみません。10年前までは飲むときには砂糖もミルクも入れませんでした、今は入れています。

・文化面でベトナムの南と北で相違はありますか。

D : 南では何でも受け入れる。人のことを気にしません。自分中心かなあ。北は、人のことをちょっと気にします。

・日本の冬については

D : 一年目は寒かった。寝ておきたら鼻血の毎日でした。長袖の服を盛ってなかったので寒かったです。ベトナムでは毎日気温は30度です。25・26度が快適です。もちろん日本の冬にはなんとかなれました。

・日本語学習について

D : 日本に来て最初の二年間、日本語の勉強をしました。富山大学では、経済学部でした。授業では専門用語ばかりのものでしたから、授業の日本語はよく分かりました。

・モチベーションはどこからきたんでしょうか。

D : やったことのないことをやる。やらなかったら自分がつらくなるからです。

◆終わった後も、歓談はつづき、本当に楽しい語り合いでした。

Duc さんはベトナムの紹介をしようと思っていたとのことでしたが、それよりも人との出会いに重きにおいて頑張る話をされました。Duc さんの熱い心意気が十分につたわってきました。私たちもしばしの間、国際貢献に浸ることが出来ました。

Duc さん、ご参加の皆さん、どうもありがとうございました。

